



Homecoming 2001



名古屋学院大学同窓会

第11回 ホームカミングデー の御案内

日時 11月3日(祝)午後12時より2時まで
場所 名古屋学院大学「思星館」(第2食堂)
(チャペルの前の建物です)

恒例となりましたホームカミングデーを、

今年も11月3日(土)に開催させていただきます。

今年度も大学祭期間中に開催いたしますので、同窓生との交流はもちろん、さらに大きく発展した大学の様子を見学して頂けます。記憶に残る学内の風景を探してキャンパスを散策したり、新しい施設を覗いたり、きつと楽しい時間を過ごして頂けることと思います。

これまで参加されていなかった方も、今年度は御家族と一緒にキャンパスを訪れてみませんか。もちろん無料です。同窓生が一堂に会する年に一度の機会、是非とも多くの方々にご参加頂きたく御案内申し上げます。

Homecoming 2001

ホームカミングデーとは

本大学卒業生のOB・OGとその家族、そして教職員が、NGUファミリーという大きな輪を拓けることを目的に、年に一度キャンパスに集い、コミュニケーションを深めるイベントのことです。



主な行事

11月

1日(木)

- スポーツ大会

2日(金)

- オープニング
- 講演会

3日(土)

- 瀬戸子供太鼓
「こいぬ座」公演 12:20~
- 獅子舞「道明士」 14:30~

4日(日)

- ストリートダンス
「D-derive factory」 12:20~
- トークライブ 15:30~
- 後夜祭 17:00~

今年も名学大祭の季節がやってきました。今年のテーマは21世紀のはじめにふさわしく「∞〜無限〜」としました。

今年の大学祭は今までにないような企画で大学祭を盛り上げようとの思いのもと、11月1日(木)のスポーツ大会を皮切りに、11月2日(金)にはオープニングイベント、著名人による講演会が予定されており、また、この日から4日までフリーマーケットや一般学生による模擬店が行われます。11月3日には、恒例となりました瀬戸子供太鼓「こいぬ座」太鼓演奏、獅子舞などがあります。最終日の11月4日はタレントを呼んでのトークライブやダンスチームによるストリートダンスが行われます。

そして、ラストの後夜祭まで盛りだくさんの内容で、みなさんに「無限」の空間を楽しんでもらおうと思います。

皆様方のご来場を心よりお待ちしております。



名学大祭「∞〜無限〜」のご案内

期間 11月2日(金)〜11月4日(日)

学長対談 会長

(木村光伸)

(占部憲一)

21世紀最初の年、国内外の社会環境・経済情勢は厳しさを増し、少子化などと相まって母校 名古屋学院大学はどのように変化していくのでしょうか。今後の教育とは？ また私たちが同窓会に期待される役割は？ これらをテーマに、占部会長と木村学長に対談していただきました。

社会・経済の動向に 即応する大学教育を

名古屋学院大学が2004年に設立40周年を迎えます。まずお二人の感想をお聞かせください。

占部会長(以下会長に略) 第1回卒業生が定年に近づく位の年齢になって参りました。また、親子ほど年齢の離れている同窓生が一緒に活動するようになっていきます。年代も20代から壮年層までと、同窓会としても人の厚みが増したのではないかと思います。



木村学長

木村学長(以下学長に略) まず最初に、2000年度の卒業生を含めて累計で3万名を超えました。戦後できた新制大学

としては、かなりまとまった人数であると思います。これは本学の特徴の一つですが、同窓生のかなりの方々が名古屋市中心とした比較的近隣に集中しています。遠方の方もたく



出席者 名古屋学院大学学長

名古屋学院大学同窓会 会長

司会

同窓会 副会長

木村光伸

占部憲一

新しい試みを行って参りました。1989年の外国語学部開設をはじめ、商学科の学部化、社会人大学院や経済学部政策学科の開設など'80年代末からミレニアムに至るまでの間に、

さんいらっしゃいます。ある意味でヒューマン・パワーを活かしやすい形で社会に送り出して来たんだな、ということを実感しています。同窓生の方々に聞かされたことは、今親子ほど年齢が離れているというお話が出ましたが、現実には同窓生の方の子弟が本学に入学され、卒業されている時代に入りました。これは40年近い歴史を見た時に、世代がぐるりと大きくひと回りしたという感慨を抱かざるを得ません。大学として、同窓会として、ようやくまとまりが出来始めたと言えるでしょう。まさしくこれからの展開が期待できるのではないのでしょうか。

これからの展開についてお話しただけですか。

会長 これからの展開という意味とは少し前後するかも知れませんが、名古屋学院大学は学生全員にコンピュータを持たせたり、AO入試を導入したり、大学院を名古屋市内に開設したりと、他校に先駆けているいろいろな取り組みをされていますね。今後はどのような取り組みを考えていらっしゃいますか。学長 これに私たちはここ10年ほどいろいろな

その時々には社会が要請するものを作ってきました。これからは作ったものの上手く持続させていかなくてはなりません。持続させるということとは、単に続けていくのではなく、常に内容を吟味し、絶えずリフレッシュさせていく事が重要です。実はこれが難しい。大学は学部学科が増えれば良いわけではなく、所期の目的通りに運営されているか、社会の変化に伴い柔軟な姿勢で対応しているかを確認しながらでないといけません。

多分2004年に向けて、大学全体の組織を再構築して新しいものを生み出していくことになるでしょう。会長 それは、新たな学部学科の開設もあるという意味でしょうか。学長 それもあり得ます。その前に名古屋学院大学にはどんなコースが必要か、という分野に進出するべきかを十二分に検討した上で、新しい学部学科の展開ができないかを検討し始めた段階です。

時代の一步先を走る 名古屋学院大学

会長 時代と共に求められるものは変わりますから、簡単には決められないでしょうね。最近の若者は多様になつていきますし、これまで名

古屋学院大学で学ぶ基本要素であった経済の分野だけでなく、社会的に実用性の高い学部学科が必要となるような気がします。学長 実用的という視点はキーポイントだと思います。近年は各大学が他校と差別化を図るため、その時のトピックスに的を絞った学部を開設して来ましたが、これは数年の間は良いかもしれませんが、時代の要請が変われば次の展開はあり得ないのです。今の時代のトピックスに上手くフィットしながら、今後の展開を見通せる学部を作らないといけないと思います。当面の間私たちは、既存学部の質的充実を図り、社会・経済の動きに即応できるようなカリキュラム作りを取り組んでいこうと考えています。

会長 学長が考えていらっしゃるカリキュラムを活かして、学生に学んでもらいたいと思われている事は何ですか。また昨今は国際化時代と言われていますが、この流れに対してはどのように取り組まれますか。学長 まず、それぞれの学部学科レベルで、社会に果立つ前の基礎的な専門教育をしっかり学んでもらうことは当然ですが、学問が実は面白いものであると知っていただきたい。そして社会で最低限必要な知識を吸収し、後は自分が社会に出てから否が応でも直面する様々な問題を、試行錯誤しながら乗り越えていくだけの、知的逞しさを身に付けてもらえるカリキュラムを組みたいと思います。次に、国際化という言葉に関心してですが、これは外国語学部の範疇だけに留まる話題ではなく、全学生共通のテーマです。例えば、語学を身に付

てから否が応でも直面する様々な問題を、試行錯誤しながら乗り越えていくだけの、知的逞しさを身に付けてもらえるカリキュラムを組みたいと思います。次に、国際化という言葉に関心してですが、これは外国語学部の範疇だけに留まる話題ではなく、全学生共通のテーマです。例えば、語学を身に付

けるという技術的側面から語られるものではなく、広くコミュニケーションという軸で捉えたいと考えます。外国語を話せるだけで国際化時代に通用する訳ではありません。相手と円滑にコミュニケーションできる力、いわゆる情報伝

ご挨拶



理事長 内山道明

名古屋学院大学同窓生のみなさまが各界でますますご活躍のこと心からお喜び申し上げます。また、日頃同窓会の運営に当たられておられます会長をはじめとして役員のみなさまのご努力に心から敬意を表します。

みなさまにおかれましては、すでにご承知のとおり、本学も37年の歴史を重ねて、今日では大学院2研究科、3学部5学科が開設され、学生数も5000名を超える中部圏における優良中堅大学として位置づけられるようになってまいりました。

さらに、本年4月から通信制大学院を設け、生涯学習の社会的要請に応えようとしています。

昨今の教育環境は私学にとつて、きびしさを増しており、経営努力ならびに教育充実政策を教職員あげてはかっているところですが、

同窓生のみなさまによる力強いご支援をお願い申し上げます。

達力がいまの若者は不足しています。これをきちんと教えていくことが大切だと思います。そのために、言語とコミュニケーションのエリアの中に手話も導入しました。これは学生たちも熱心に学んでおり、一定の成果が上がっていると思います。



会長 これまでのお話を伺っていると、会長が考えられておられる名古屋学院大学の方向性が見えて来たような気がして来たと感じています。

がします。学問の学び舎としての大学に凝り固まることなく、柔軟性を持ちながら学生が社会に適應できる実務的な教育が必要であるというところでしようか。

学長 そうですね。名古屋学院大学が経済学部から始まったという経緯からおわかりいただけると思いますが、経済を学ぶことはある意味で実務を学ぶこと、そもそも本学には、中部地域における経済社会を担っていく人材を育てようという目標が当初から息づいています。実は大学の建学の目的はこれなんです。キリスト教主義、敬神愛人も大きな建学の精神ですが、大学創立の意図は経済人を育成し、ものづくりの要知を支えるという大きな目標があったはずなんです。この精神に則り、実務的な教育をどう行うかが今でも私たちの課題であり、これをきちんと行つてのみ名古屋学院大学の特徴が出せると思います。

今の学力ではなく、個人の長所を評価するAO入試

会長 実務的な教育という面では、目頭にも申しましたが、他大学に先駆けて導入されたAO入試があります。現在、当たり前のよう

大学のAO入試の特徴とは何でしょうか。

学長 名古屋学院大学のAO入試の特徴は、高等学校の評定ではなく私たち自身が決めた基準で受験者の合否を判断していることです。それは現在の学力ではなく、彼ら彼女らが持っている魅力や内面にキラリと光るもの、あるいはやる気の有無に重点を置いています。他校のように、自己推薦文を書かせたり、共に秀でているか、後は面接などで合否を決めるなどというようなことは致しません。私たちは、受験者全員に4日間渡る12コマの授業と学

内行事に参加していただき、これらの対応を教員が十分に目で見定めています。例えていうなら、この人は授業をしっかりと受講するだろうか、何か面白いことをやりそうだな等々。これは、1人の教員の思い込みによる判断ではなく、複数の教員の合議で選んでいます。実際に手間暇かけて真剣に取り組んでいる訳です。今年は300人を超える受験生が来てくれました。

会長 名古屋学院大学のAO入試は、受験生からかなり人気があると聞いています。同窓会のご子息ご令嬢で、ぜひ入学したいという方がいれば、このAO入試を受けられたら良いのではないかと、と思いますが...

学長 ほとんど体験入学を通して、NGUの良さを知っていただきたいものです。私たちとしても同窓生のお子さま達に、積極的に選んでもらえるような大学になりたいと思っています。

学長自ら派遣講師 各地へ出張講演に出向

会長からの難しい質問を答えていただいたところで、最後に学長の最近のご活動内容を教えていただけませんか。

学長 学長という職務は、大学業務全体の管

理職であると同時に大学の広告塔であるべきというのが私の持論です。これからの大学はもっと上手にセールスポイントを社会にアピールしていかないとダメです。ここ3年ほどは随分頑張つて学内行事の情報を広く発信するようにしています。その甲斐あって、近隣の大学の中では新聞やテレビ等に取り上げられた回数が一番多いのではないかと思います。また、この夏より中部地方の高等学校を対象に、学長の出張講演という企画を始めました。すでに何校かに出向き、講演を行っています。高等学校以外にも、東海地域の進路指導担当の先生方の研修会の記念講演の依頼なども来ております。どこに出張してもお話しした後に、名古屋学院大学はこんなことをやっています、とPRして必ず帰って来ます。広告塔として、大学のために少しでもお役に立てていると幸いですね。

会長 お忙しい中、いろいろ多岐に渡ってお話しいただきありがとうございます。今後ともよろしくお願ひ致します。

プロフィール



学長 木村光伸 1949年生まれ 京都市出身

1973年3月京都大学農学部林学科(森林生物学)卒業。日本センターセンター研究部研究員を経て、1983年より名古屋学院大学教員に就任。1998年、教授に就任。2000年4月より学長に就任。

活躍する同級生

備前焼陶芸家として：

備前焼六性窯元桃蹊堂十八代

備前焼陶芸家 木村英昭



備前焼六性窯元桃蹊堂十八代備前焼陶芸家として、国内外で活躍されている木村英昭さん（1994年卒業）。多岐にわたるフィールドで作品を発表し、名古屋学院大学同窓生として異色ともいえる木村さんの活躍ぶりを同窓生の皆様に知っていただくため、プロフィールと代表作品を掲載し紹介します。

に従事。第7回あかりのオブジェ展（岐阜）、第24回長三賞陶芸展（愛知）、第46回岡山県美術展（岡山）など公募展に出品し入選。また、グループ展にて作品を積極的に発表するなど若手陶芸家として注目を集めました。

1996年にはスペイン、バルセロナ・マサナ美術学校（陶芸科専攻）に留学し、陶芸を学ぶかたわら学校とは別に約50人を取替できるアトリエ、エル・サブマリノ内の一室を借り、各国のアーティストと交流を深めながら、作品づくりに邁進します。翌年、学校で彫刻科を専攻、バルセロナ市主催のタシエール・アビエルト98（アトリエ・般公開）に参加。

1998年オーストラリア、シドニー近郊の町ゴーンで開催された陶芸祭を視察。そのとき、国際陶芸家ネットワーク・マンズフィールド氏と出会い、クイーンズランド州ブリスベン陶芸協会に招待され作陶することになります。そこで、アントニー・プリング氏とも出会い、人脈を広げながら交流を深めていきます。

また、伝統ある備前焼にこだわりつつも、新たな境地を切り開くべく、名古屋の現代美術作家・日比野貴之氏とのコラボレーションユニット「MENSURE」を結成。備前焼と現代美術の融合作品を国内外で発表。

2000年4月には名古屋・栄のイタリアン・レストラン「トラトリア・ババゴロ」の店内装飾を日比野氏プロデュースにより、あかりのオブジェの制作・設置を手掛けています。

WASABIJUN

若者の人気番組「ASAYANI」

海外進出企画でN.Y.大個展



同年6月には、WASABIJUN若者に人気の高いテレビ東京の番組「ASAYANI」で、海外進出企画「新機軸第2弾N.Y.大個展」に選ばれ、作品「和」

「Japanese soul」を出品。また8月には「WASABIJUN」インド政府のBest of Parliamentの表彰式とパーティーに招待され、インド政府首脳陣、経済界、文化人、各国の在インド大使などの方々と交流を深め、作品もインド政府所蔵となり、芸術文化交流展も開催されています。

木村さんの精力的な作陶ぶりは今、備前焼の若手陶芸家として熱い注目を集めています。



写真左 木村英昭さん
右 日比野貴之さん

WASABI

（木村英昭、日比野貴之）

名前の由来は日本のSOUL「わびさび」を訳して命名。基本コンセプトは、日本の伝統を守り、新たな表現を追求し、世界各地で展示会やイベントを開催し、芸術を通じて文化交流をすること。

作品は、平面・立体、陶芸、インスタレーション（据え付け）、ビデオアートなど、単体・複合作品を共同制作し、世界で発表しています。

木村英昭氏 主な作品紹介



向火土（ひまわり）
向火土シリーズは彼がスペインから帰国してから出衆上がった作品。この作品はバランスよく、流動性のあるデザインが特徴です。



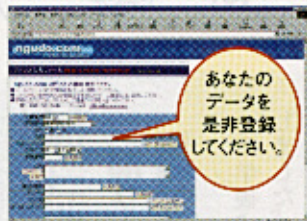
春の訪れ
タイトル通り春の到来を視角で感じさせてくれる作品。まだ蕾でも内には成熟していて、外へ飛び出す日を心待ちにしている様子が伝わってきます。

木村英昭さんの活動の詳細は、名古屋学院大学同窓会ホームページ内の品野台コネクションにリンクを貼っています。木村さんのお名前をクリックしていただければご覧になることができます。

同窓会ホームページへ Now on crick!! <http://www.ngudo.com>ホームページ
閲覧のしかた

ホームカミング2001

今年、11月3日(祝)に開催される「ホームカミングデー」の詳細内容をご案内しています。



アドレス入力ページ

同窓会事務局に、あなたの最新情報(住所、電話番号、メールアドレス等)を簡単に登録することができます。入力フォームに従って、必要事項を書き込んでいただくだけ、複雑な事務手続きは一切不要です。



NGU キャンパスの写真

名古屋学院大学キャンパスの様子を写真に収め、皆様にご覧いただいています。お気に入りの写真は、ダウンロードして保存できます。ご自由にご利用ください。



Prefecture do

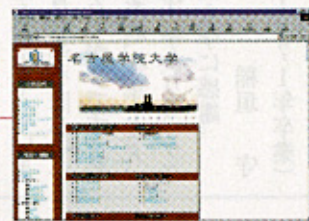
県単位での同窓会活動をネット上で支援していくページです。将来の支部設立のお役に立てるよう開設いたしました。現在、岐阜県のページを閲覧いただけます。

同窓会独自のホームページ“ngudo.com”が、8月1日で開設1周年を迎えました。同窓会の活動や目的、活躍する同窓生の様子などを約3万人の同窓生の皆さんに紹介し、皆さんのお役に立つサービスなども併せて提供しております。

開設以来、皆様のご意見を取り入れながら、よりわかりやすく、タイムリーな情報の掲載を心掛けてまいりましたが、この度同窓生の皆様のメールアドレスなど個人情報をホームページから直接入力していただける「アドレス入力ページ」、母校キャンパスの様子を写真で見ただけで「NGUキャンパスの写真」、県単位での同窓会活動をネット上で支援する「Prefecture do」のページを新設いたしました。今後とも同窓会の活動をより身近に、さらに拡充していくためにも、同窓会ホームページに皆様のあたたかいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

▶ トップページのデザインをリニューアル!

同窓会HPのトップページをリニューアルいたしました。メインに間近なイベント等の情報を配置し、初めてアクセスされる方にもわかりやすくデザインしています。

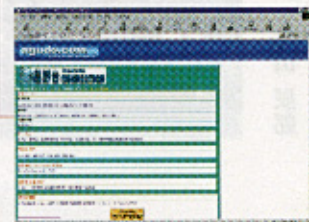


名古屋学院大学
名古屋学院大学のオフィシャルホームページへアクセスできます。



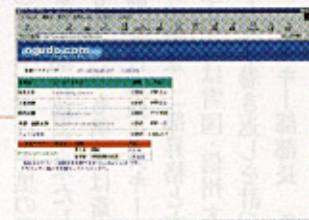
オフィス(親睦会情報)

同窓生の皆様への様々な連絡事項、親睦会等のお知らせを掲載しています。



品野台コネクション

個人や大学のサークル、OB会、会社のホームページ等をリンクしています。リンクを希望される方は、アドレス入力ページから簡単にお申し込みいただけます。お気軽にご相談ください。



支部情報

関東、三重、関西、中国・四国、アメリカの5支部及び各県サイバー同窓会のメールアドレスを掲載しています。



NGU最新情報

母校の様々な最新情報を掲載しています。



理事・監事・顧問紹介

理事・監事・顧問を写真入りで紹介しています。各個人のメールアドレスも掲載しておりますので、直接ご意見等のメール交換が可能です。

アメリカン フットボール部

創部35周年
中部地区のアメフト発展に貢献

私は71E稲垣です。名古屋学院大学が大好きです。アメリカンフットボール部を卒業してから現在まで、アメリカンフットボール馬鹿を沢山やってきました。監督、東海学生連盟常任理事、審判、OB & O G 会副会長等々。アメフト部OB & O G 会も現在会員206名です。年4回通信を出しています。1966年の創部から今年35周年となりました。皆さん、出身クラブを問わず母校チームの試合、発表会の応援に行きましょう。そしてもっと母校を愛しましょう。私は今アメフト部OB & O G 会副会長をやっていますが、近い将来、文化会系、体育会系を問わず、OB & O G 会の連絡会ができるのが夢です。私の人生に4本の柱があります。家族、仕事、友人、そしてアメリカンフットボールです。アメリカンフットボールに出会えた名古屋学院大学に感謝。



(経済学部経済学科 1971年卒業)

稲垣 守

硬式野球部

一部リーグに昇格
優勝を目指してさらにステップアップ

本学硬式野球部は昨年春から一部に昇格いたしました。昨春は、まだ突然の昇格にとまどいがあつたせいか4勝6敗(勝点2、4位)でしたが、昨秋7勝5敗、今春6勝4敗で2季連続勝点3、3位の成績をあげることができました。昨秋は優勝校を上回る4人のベストナイン選手を出しましたし、今春は試合日程の関係もあって最後まで優勝を争うことができました。すくなくとも、二部上位校に定着しつつあります。もともと課題はあります。名古屋商科大学からは連続勝点をあげることができましたが、愛知学院大学からはまだ1勝もしていません、中部大学も苦手としたままです。二下位には強いが上位には弱いという定評になってしまいました。精神力の問題でしょう。

今季、愛知学院大学が一枚上でしょうが、弱点があります。他の5校は横線、優勝も最下位もありえます。全力を尽くしますので、ご声援をお願いします。

硬式野球部部长 持田 辰郎

(経済学部教授)



スキー部

全日本学生スキー大会に出場

暑い夏が終わり、白銀の世界に思いをよせているスキー部は今年で35年目を迎える伝統と実績のあるクラブです。部員は23名ですが、アルペン・クロスカントリ・基礎スキーと分かれているために、部員は不足気味です。シーズンオフのトレーニングが冬の成績につながりますので毎日声を掛け合っています。1998年・1999年はクロスカントリーの船橋・花井・宮本の活躍で中部学生スキー大会に二連覇(女子の部)、男子の部は中里の二冠、長沢の回転・優勝により一部昇格を果たしました。2000年・2001年も男子は斎藤・赤川・橋崎を加えて健闘、全日本学生スキー大会で、四部優勝・三部優勝の結果、二部昇格と大いに気をはいています。女子の部は雪国・信州大学の活躍で二位に甘んじましたが巻き返しを計っています。

スキー部部长 亀井 貞次

(経済学部教授)



後輩の活躍を喜び先輩から送られた部旗の前で

南山大学と学生交流の協定を締結



本学経済学部と南山大学総合政策学部との単位互換を始めとする「南山大学と名古屋学院大学における学生交流に関する協定書」の締結が、昨年12月に南山大学ハンス・ユ

ゲン・マルクス学長と本学木村光伸学長とによって調印されました。(写真)

協定書によりますと、二つの大学の研究・教育上の環境を考慮し、学生の交流が両大学における各分野の研究・教育の発展に寄与できることから、交流を希望する学生を南山大学の総合政策学部、本学経済学部政策学科へそれぞれ派遣するというものです。期間は2001年4月1日から2004年3月31日。

また、覚え書きでは、派遣学生を「特別聴講生」としてそれぞれの大学が受入れることとし、受入れ人数は5名以内となっています。履修できる科目は学部が適当と認めた科目とし、登録単位数は1学期8単位までとなっています。この秋学期からは4名の本学政策学科の学生が南山大学瀬戸キャンパスに出向き、それぞれ希望の科目を受講します。

就職部が「キャリアセンター」に変更

今年度から就職部が「キャリアセンター」に名称変更されました。名称変更に伴い業務内容も大幅に変わりましたので、キャリアセンターの概要を紹介させていただきます。従来の就職支援に以下の事項が加わりました。

1. インターンシップの実施

企業や行政機関などで実際に就業体験をすることにより、業界(企業)・仕事(労働)への理解を深めるプログラムです。就業時期と期間は夏期休暇中の2・3週間です。また就業実習事前・事後教育が行われインターンシップ修了者には単位が認定されます。

2. 資格講座・公務員講座の実施

公務員講座は従来から実施していましたが、今年度から、国家Ⅱ種・地方上級・市町村・警察官・消防官コースと言ったコース別に講座を実施しています。資格講座では、基本情報処理技術者・宅建、一般旅行、販売士2級、初級シニアド、日商簿記2級、ビジネス能力3・2級、秘書検定2級、TOEIC対策、英検2級講座を開講しています。学部により異なりますが、資格取得者には単位が認定されます。

3. 能力開発総合講座の開講

1年生・3年生を対象に、一般教養・専門の基礎的内容を中心とした導入教育、さらに就職試験の内容を中心とした実践教育を授業科目に取り入れ段階的に実力がアップするように計画されています。

以上のように、従来の就職支援に資格講座・インターンシップ・能力開発講座が加わりました。

キャリアセンターのねらいは、就職のためだけの支援ではなく、学生個々人のキャリアアップ、スキルアップを計ると同時に、自分の人生を考える、あるいは自分の進路を考え選択できる力を養う(培う)ためのプログラムを実行するセクションです。

同窓生の方々のご支援の程よろしくお願いします。

2002 A O入試だより

A O試験の体験入学は、8月18日(土)・21日(火)の4日間実施されました。本学のA O入試は、本年度で実施3年目を迎えました。大学への志願者が減少している中で、2年連続の増加となる312名(前年度は256名)の申込がありました。増加の要因は、愛知県内の公立高校からの申込者が、前年度より80%も増えたことが第一にあげられます。「生徒が受験を安易に考えやすい」として、A O入試には弊(戒感)が強かった愛知県の公立高校が、少しづつではあります。本学のA O入試について理解を示してくれています。

9月7日には適切者204名を発表し、10月20日(土)に行われます面接試験の出願資格を与えました。入試難易度より内容で大学を選ぶ時代であるということが、マスコミ等でもよく言われるようになってきました。そうした時代にあつて、大学をよく理解した上で入学を決めるA O入試の入学者が増えることは、大学にとっても大きなメリットとなり、活性化にもつながると確信しています。

思星館にモスバーガーとコンビニ

学生からの要望の高かったハンバーガーショップ「モスバーガー」コンビニが思星館1階に設置されました。

ファーストフードショップやコンビニは現代の若者にとって最も身近な生活施設であり、本学「学生実態調査」の結果や学生大会などでも設置の要望が多くあったものです。これまで本学は教育施設や教育内容の充実を優先させてきましたが、さらに学生のキャンパスライフを豊かなものにするため設置したものです。





名古屋学院大学

「教育振興資金」募金にご協力を

会日各位には、益々隆昌のこととお慶び申しあげます。
この度、名古屋学院大学から本同窓会に対して、「教育振興資金」の募金活動について協力依頼がございました。今回の募金の趣旨は同封されています「募金趣意書」に述べられていますが、大学は厳しい財政状況下の中にあるけれども、教育環境の整備・充実が大学発展の条件であるとして、それらの事業資金の助として「教育振興資金」の募金活動を行いたい。ついでには、理解と協力をお願いしたいとの内容でありました。つきましては、会日各位におかれましては、厳しい経済環境にあるとは存じますが、母校発展のために募金の趣旨に深いご理解をいただき、出来る限りで結構ですのでご協力いただきたくお願い申し上げます。

会日各位

名古屋学院大学同窓会 会長 占部憲

10/17

商学部開設10周年・大学院開設5周年
記念シンポジウム
「企業活性化と人材育成」開催

現在、企業を取り巻く経営環境は、これまで私たちが経験したことのない大きな変化の中にあります。10月17日(水)、名古屋学院大学アンパレスにおいて、企業存続・企業活性化のために私たちが何を成し生か残していくべきかを考えるシンポジウムが行われます。閉塞感の漂う今の経済情勢を打破するためには、「ひとつ」「もの」「かね」「情報」の資源を巧みに使い、企業活性化を担う人材の育成を行うことが企業存続・発展のキーポイントです。今回のシンポジウムでは、企業環境の変化、企業活性化、人材育成の問題を総合的に考えていきます。皆様、是非お申し込みください。(入場料は無料)

お問い合わせ先

名古屋学院大学企画室
TEL 052-881-2288 愛知県瀬戸市上品野町1-3-30
TEL 052-881-2210 FAX 052-881-4100-7
E-Mail nguae@ngu.ac.jp

同窓会終身会員(FULL)

同窓会では、学生・卒業生への援助、また、会報の発行、同窓生の集い「ホームカミングデー」の開催などさまざまな活動を行っておりますが、その会計は、卒業生からの入会金・会費で運営されております。最近では大勢の卒業生の皆様と同窓会運営にご協力頂けるようになり、このつながりを広げて行きたいと考えております。

さて、平成8年度より、正会員のうち、年会費5年分(1万円)以上を納入して頂いた方を終身会員とし、その方には今後年会費の請求をしないということ、および、1997年3月以降の卒業生につきましては全員終身会員とし、それ以降の会費を請求しないこととなっております。現在毎年2千円の年会費の請求をさせて頂いておりますが、皆様方も是非この機会に終身会員となさせて頂くことをお勧め致します。

なお、1999年3月時点で敬愛同窓会の終身会員であった方は、当大学同窓会の終身会員とみなすことと致しましたので宜しくお願い致します。

年会費のお願い

大学同窓会は、卒業生の皆様の会費で運営されております。今後、大学をもちため、同窓会ネットワークを充実させるためには、是非しっかりと財源が必要となります。なにとぞご理解の上、ご協力願いますようお願い申し上げます。会費は、同封の振込用紙をご利用の上、一口以上のお振込をお願い致します。

- 年会費 一口 2,000円
- 終身会員費 1万円以上

既に終身会員の方は不要です。

支部連絡先

各支部では毎年支部会を開催しています。
お問い合わせは左記へお願いします。
ホームページ上でも、各支部の連絡事項等をご覧いただけます。

関東支部

〒334-0067 埼玉県川口市大竹272-1
TEL 048-129617092
FAX 048-2951069
伊藤忠治(69年卒)

三重支部

〒519-0413 三重県度会郡玉城町妙法寺345-1
TEL 059-658-2191

関西支部

〒544-0025 大阪市生野区生野東1-1-37
TEL 06-712-3574
(中川登記測量事務所内)

中国・四国支部

〒712-8003 岡山県倉敷市水島明神町2-146
TEL 086-444-5252

アメリカ支部

3501 E. 66TH AVE, ANCHORAGE, ALASKA, USA
二ノ滝きん子(76年卒) TEL 907-344-7087

住所変更届けのお願い

同窓会事務局では、同窓会員の皆さんに同窓会会報等の配布物を定期的に送付しておりますが、住所不定による郵便物の返送がかなりの数発生しております。現住所より転居される場合、同窓会事務局までご連絡頂るか、同窓会ホームページの「アドレス入力ページ」にて変更して頂きますようお願い致します。また、知り合いの同窓生で転居された方をご存じの場合も、同様にご連絡頂きますようお願い致します。

連絡先

名古屋学院大学同窓会事務局
〒460-0008 名古屋市中区栄4-1-11 中三ビル7階
TEL 052-2421644 FAX 052-2426445
※同封の住所・勤務先等変更ハガキをご利用ください。
同窓会ホームページアドレス: <http://www.ngudo.com>

同窓会員の皆様へ注意を

最近、同窓会の名を騙って住所や就職先を電話で尋ねてくる事があるようですが、同窓会では一切そのような事はしておりませんので、ご注意ください。

編集スタッフ

- | | |
|-------|-------------|
| 担当副会長 | 下村直己(73年卒) |
| 広報委員長 | 須崎英晴(78年卒) |
| 副委員長 | 古川雅章(78年卒) |
| 事務局長 | 長瀬薫八郎(71年卒) |
| 事務局 | 豊田登志子 |